

22:24 また、彼らの間には、この中でだれが一番偉いだろうかという論議も起こった。
22:25 すると、イエスは彼らに言われた。
「異邦人の王たちは人々を支配し、また人々の上に権威を持つ者は守護者と呼ばれています。」

22:26 だが、あなたがたは、それではいけません。あなたがたの間で一番偉い人は一番年の若い者のようになりなさい。また、治める人は仕える人のようでありなさい。

22:27 食卓に着く人と給仕する者と、どちらが偉いでしょう。むろん、食卓に着く人でしょう。しかしわたしは、あなたがたのうちにあって給仕する者のようにしています。

22:28 けれども、あなたがたこそ、わたしのさまざまな試練の時にも、わたしについて来てくれた人たちです。

22:29 わたしの父がわたしに王権を与えてくださったように、わたしもあなたがたに王権を与えます。

22:30 それであなたがたは、わたしの国でわたしの食卓に着いて食事をし、王座に着いて、イスラエルの十二の部族をさばくのです。

22:31 シモン、シモン。見なさい。サタンが、あなたがたを麦のようにふるいにかけることを願って聞き届けられました。

22:32 しかし、わたしは、あなたの信仰がなくならないように、あなたのために祈りました。だからあなたは、立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

22:33 シモンはイエスに言った。「主よ。ごいっしょになら、卒であろうと、死であろうと、覚悟はできております。」

22:34 しかし、イエスは言われた。「ペテロ。あなたに言いますが、きょう鶏が鳴くまでに、あなたは三度、わたしを知らないと言います。」

22:35 それから、弟子たちに言われた。「わたしがあなたがたを、財布も旅行袋もくつも持たせずに旅に出したとき、何か足りない物がありましたか。」彼らは言った。
「いいえ。何もありませんでした。」

22:36 そこで言われた。「しかし、今は、財布のある者は財布を持ち、同じく袋を持ち、剣のない者は着物を売って剣を買いなさい。

22:37 あなたがたに言いますが、『彼ら罪人たちの中に数えられた。』と書いてあるこのことが、わたしに必ず実現するのです。わたしにかかわることは実現します。」

22:38 彼らは言った。「主よ。このとおり、ここに剣が二振りあります。」イエスは彼らに、「それで十分。」と言われた。

弟子たちはまだ神の国の価値観が分らないようで、「だれが一番偉いだろうか」となどという論議を始めてしまいました。これはクリスチャンといえどもなかなか改まらない部分なのかも知れません。教会でも常に注意する必要がありますし、自分自身の中にそのようなことを気にする思いがないかどうか吟味が必要です。

重要なのは偉いかどうかではなく、主に従い続けられるであろうかということです。イエス様はそんな弟子たちに対して、シモンのことで「麦のようにふるいに」かけられると警告なさったのです。

「覚悟はできています」というような立派なことを言ったとしても、「ふるいにかけられる」ことがありますし、そのときは誰もが弱いのですから、自分の信仰や決心を過信しないで、「あなた

のために祈りました」というイエス様のとりなしの前にへりくだりましょう。またそのような謙遜な思いで兄弟姉妹と交わりましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

